

平成30年度

# 事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

学校法人 愛国学園

## I. 学校法人愛国学園の概要

学校法人愛国学園は、教育基本法及び学校教育法に従い、校訓「親切正直」を掲げ、建学の精神に則って学校教育を行い、健全な精神と身体とをそなえた女子の育成を目的としている。この目的を達成するために設置された本学園の平成30年度における概要は、以下のとおりであります。

### 1. 建学精神

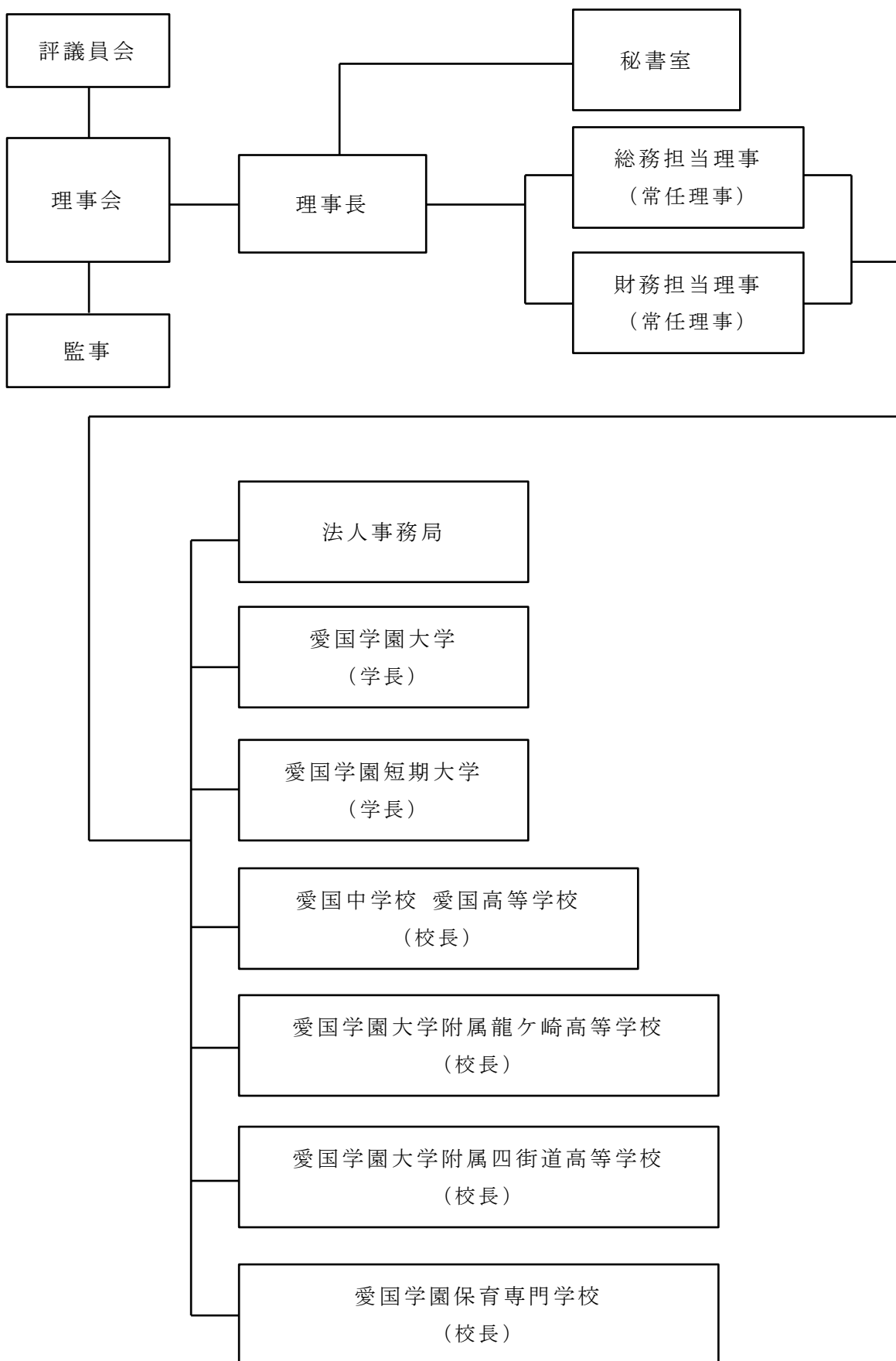
社会人としては豊かな知識と技術とをもって経済的に独立し、家庭人としては美しい情操と強い奉仕心とをもって一家幸福の源泉となる、健全な精神と身体とをそなえた女性の育成を目的とする。

### 2. 沿革

昭和13年	7月	財団法人織田教育財団創立（同年12月認可）
13年	12月	愛国女子商業学校設置
22年	4月	愛国中学校設置
23年	3月	愛国高等学校（普通科・商業科・家庭科）設置
26年	3月	財団法人を学校法人愛国学園と組織変更
37年	2月	愛国学園女子短期大学設置
40年	1月	愛国学園女子短期大学商経科増設
40年	2月	愛国学園女子短期大学附属龍ヶ崎高等学校設置
41年	4月	愛国高等学校衛生看護科設置 （准看護婦養成施設（現准看護師養成施設）指定認可）
44年	1月	愛国学園保育専門学校設置
45年	4月	愛国学園女子短期大学を愛国学園短期大学に名称変更
45年	5月	愛国高等学校定時制設置
49年	2月	愛国学園保育専門学校附属第一幼稚園設置
54年	12月	愛国学園短期大学附属四街道高等学校設置
55年	3月	愛国高等学校衛生看護専攻科設置 （看護婦養成施設（現看護師養成施設）指定認可）
57年	3月	愛国高等学校家政科調理師養成施設指定認可
63年	6月	愛国学園創立50周年記念館完成
平成9年	12月	愛国学園大学人間文化学部設置
11年	4月	愛国学園短期大学附属龍ヶ崎高等学校・同四街道高等学校を 愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校・同四街道高等学校に名称変更
11年	12月	愛国学園短期大学商経科廃止
13年	3月	愛国高等学校別科廃止
13年	7月	愛国学園大学附属四街道高等学校商業科廃止
14年	2月	愛国学園保育専門学校介護福祉士専攻科設置 （介護福祉士養成施設指定認可）
28年	8月	愛国高等学校定時制廃止

### 3. 組織図

(平成30年5月1日現在)



#### 4. 役員 の 状 況

○理事

理事数（定数：5～9人・現員：6人） 監事数（定数：2人・現員：2人）

平成30年6月1日現在

※年度内に監事変更有、上記日付で報告

氏名	生年月日 (年齢)	最終学歴	主な職歴等	
(理事長) 織田 奈美	昭和35年1月6日 (58歳)	昭和女子 大学	S58. 4～現在 S60. 2～現在 H 7. 11～現在 H11. 4～H23. 3  H13. 5～現在 H23. 4～現在 H30. 1～現在 H30. 1～現在	愛国中学校・高等学校教諭 愛国学園評議員 社会福祉法人愛国学園理事 愛国中学校・高等学校 校長代理・副校長・校長代行 社会福祉法人愛国学園理事長 愛国中学校・高等学校校長 愛国学園理事 愛国学園理事長
(理事) 小玉 幸永	昭和8年3月7日 (85歳)	東京大学	S37. 4～S61. 3 S48. 5～現在 S59. 4～現在 S61. 4～H23. 3 H22. 1～H29. 3 H29. 4～現在	愛国中学校・高等学校総務部長 愛国学園短期大学教授 愛国学園理事 愛国中学校・高等学校校長 愛国学園短期大学学長 愛国学園短期大学名誉学長
(理事) 三浦 玉恵	昭和4年9月15日 (88歳)	大妻女子 大学	S46. 3～現在 S47. 4～H12. 3 S48. 4～H13. 3 S63. 9～現在 H11. 4～現在	愛国学園評議員 愛国中学校部長 愛国中学校・高等学校経理部長 愛国学園理事 愛国学園理事長代理（副理事長）
(理事) 島村 宜伸	昭和9年3月27日 (84歳)	学習院大学	S51. 12 S63. 1～H7. 8 H 7. 8～H8. 1 H 8. 3～H9. 9 H 9. 9～H10. 7 H10. 9～H16. 9 H16. 9～H17. 8 H17. 11～現在 H22. 5～現在	衆議院議員（当選9回） 愛国学園理事・評議員 文部大臣 愛国学園理事・評議員 農林水産大臣 愛国学園理事・評議員 農林水産大臣 愛国学園理事・評議員 日本プロスポーツ協会会長
(理事) 深田 烝治	昭和18年4月21日 (75歳)	東北大学	S42. 4～H14. 12 H14. 12～H17. 6 H17. 6～H20. 6 H21. 1～H21. 12 H21. 1～H22. 7 H22. 9～現在 H22. 10～現在	会計検査院審議官・事務総長等歴任 ㈱北野組特別顧問 日本電信電話㈱監査役 ㈱丸昇石材顧問 外務省無償資金協力実施適正会議委員 愛国学園理事・評議員 公会計研究協会会長
(理事) 平尾 和子	昭和32年3月31日 (61歳)	岩手大学 大学院	S56. 4～S59. 12 S60. 8～H17. 3 H 9. 4～現在 H17. 4～現在 H21. 9～H29. 3 H23. 4～現在 H29. 4～現在 H29. 9～現在	共立女子大学助手 ㈱平尾工務店 共立女子大学非常勤講師 愛国学園短期大学教授 愛国学園短期大学副学長 愛国学園評議員 愛国学園短期大学学長 愛国学園理事
(監事) 菅野 文夫	昭和18年2月8日 (75歳)	市川工業 高校	S33. 4～S38. 9 S38. 10～S46. 6 S46. 10～現在 H15. 4～現在 H17. 4～H25. 11 H25. 11～現在	㈱山本精工 ㈱協和精工 ㈱東洋ドリル設立・代表取締役 (社)愛国学園監事 愛国学園評議員 愛国学園監事
(監事) 帆刈 信一	昭和24年3月18日 (69歳)	東京大学	S50. 4～H19. 3 H19. 4～H23. 3 H24. 5～H28. 5 H30. 6～現在	会計検査院審議官・局長等歴任 岐阜県代表監査委員 ㈱ローソン監査役 愛国学園監事

○評議員

評議員数（定数：11～19人・現員：13人）

## 5. 学校・学部・学科別定員・在籍数等

平成30年5月1日現在

学校名 (所在地)	学部・学科等名	開設 年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	在籍数	備考
愛国学園大学 (千葉県四街道市四街道)	人間文化学部 人間文化学科	H10	100	0	400	343	H21年度より入学・ 編入学定員変更 150→100、20→0 研究生を含む
愛国学園短期大学 (東京都江戸川区西小岩)	家政科	S37	100	—	200	107	
愛国高等学校 (東京都江戸川区西小岩)	全日制課程 普通科	S23	160	—	620	149	H29年度より 入学定員変更 普通科 300→160 商業科 168→80
	商業科	S23	168		328	108	
	家政科	S23	80		240	169	
	衛生看護科	S41	40		120	135	
	衛生看護専攻科	S55	40		80	80	
愛国学園大学附属 龍ヶ崎高等学校 (茨城県龍ヶ崎市若柴町)	全日制課程 普通科	S40	120	—	360	94	H21年度より 入学定員変更 270→120
愛国学園大学附属 四街道高等学校 (千葉県四街道市四街道)	全日制課程 普通科	S55	180	—	540	159	H26年度より 入学定員変更 230→180
愛国中学校 (東京都江戸川区西小岩)		S22	80	—	460	54	H28年度より 入学定員変更 300→80
愛国学園保育専門学校 (東京都江戸川区西小岩)	幼児教育科	S44	50	—	100	108	H27年度より募集停止
	介護福祉士専攻科	H14	40		40	—	
愛国学園保育専門学校 附属第一幼稚園		S49	80	—	120	—	S55年度より募集停止

## 6. 教職員数

平成30年5月1日現在

学校名	教員							職員		
	本務							非常勤教員	本務職員	非常勤職員
	学(校)長	副学(校)長	教授(教諭)	准教授(助教諭)	講師	助教	助手			
愛国学園大学	1		8	7	2			11	9	
愛国学園短期大学	1		4	5	2	1	2	29	9	1
愛国高等学校	1	1	53				3	27	19	2
愛国学園大学附属 龍ヶ崎高等学校	1		19					2	3	3
愛国学園大学附属 四街道高等学校	1	1	18					6	5	1
愛国中学校			8					3	2	
愛国学園保育専門学校	1	1	9					18	5	

## II 事業概要

平成 30 年度に創立 80 周年の節目を迎え、令和とともに新しい一步を踏み出した本学園を取り巻く環境は必ずしも明るい状況ではない。しかし、愛国学園は、女子の教育の充実こそが国を発展させることとした創立者の意志に基づき、女子のみの教育を踏襲してきている。そして、創立以来、校訓「親切正直」を戴し、建学精神である「社会人としては豊かな知識と技術とをもって経済的に独立し、家庭人としては美しい情操と強い奉仕心とをもって一家幸福の源泉となる、健全な精神と身体とをそなえた女子の育成」に即した実業教育をより充実させようと努力している。さらに、日本の伝統文化を尊重しつつ、情報化が進み国際化が進む社会情勢も鑑み、時代の要請に応える教育を実践するため、「建学精神」を尊びながら日進月歩の時代に対応できる女子の育成を図れるよう、新しい教育システムの導入及び更なる改革を推進すべく努力している。

また、既存の愛国学園奨学金・石井愛子奨学金に加え、新たに三浦亮一奨学基金を設立し、平成 31 年度より広く学生生徒を対象として奨学金を給付し、学業奨励・人格陶冶に寄与することとなった。

平成 30 年度においては、事業計画に則り、以下の事業を実施した。

### 【愛国学園大学】

#### 1. 基本方針

本学の教育研究の質的向上を図り、発展していくためには、学生の確保と財政的基盤等の安定を図ることが最も重要な課題である。そのために、学生確保に関する年度計画を策定し、教育課程の充実、募集・広報のための各種施策を推進してきたところである。平成 30 年度は、入学者 70 名を目標として募集活動を実施した結果、94 名の入学者を確保することができた。

本学の学生受入れ体制は、平成 27 年度に入学志願者のニーズ等を踏まえて、2 コース制（「生活文化福祉コース」、「国際情報ビジネスコース」）に再編したが、その後の外国人留学生の増加を踏まえた教育体制の充実、学生定員の充足を目指して、日本文化や地域をキーワードとした新たな教育体制の創設を含めた中長期計画の検討を進めた。

なお、平成 29 年度からの学生確保の取組により、平成 30 年度の大学機関別認証評価の再評価において、一般財団法人日本高等教育評価機構による評価を受け、同機構が定める評価基準に適合しているとの認定を受けることができた。

#### 2. 教育・研究等における重点事項

##### (1) 人事面における重点事項

平成 29 年度末で退職した教員の後任補充として、法学・行政分野及び心理学分野を充実させるため、専門教員を各 1 名採用・配置した。

また、留学生の急増を踏まえて、授業の理解度を深めるための日本語教育を一層充実するべく、新たな措置として日本語教育の専門家 1 名を教員として採用・配置した。これにより新たな教育活動を実施するとともに、教育の質の維持向上を図ることができた。

さらに、学生数の増に伴う学務関係業務の増に対応するため、新たに事務職員 1 名を採用し、増員配置した。これにより教育・学生支援体制の充実を図ることができた。

##### (2) 教育、研究の内容に関する事項

非漢字圏からの留学生の急増を踏まえ、日本語分野を充実させるため「日本語学概論Ⅰ」及び「日本語学概論Ⅱ」を、また、法学・行政分野を充実させるため、教育課程の見直しを行い、新たな授業科目として「環境法と福祉法Ⅰ・Ⅱ」及び「環境行政と福祉行政Ⅰ・Ⅱ」等を開設した。

### 3. 学生の募集活動

#### (1) 学生の募集活動

- ① 学生確保を図るために、内部3校はもとより外部の高等学校、日本語学校等の指定校を重点的に訪問して、本学の教育の特色や独自の修学奨励制度等の説明を行い、学生募集のための広報活動を実施した。
- ② 学生確保のイベントとして、前年度の反省を踏まえ、前年より開催回数の1回増、開催時間の見直し(半日開催)等、参加者の視点を考慮して、7回の「オープンキャンパス」を実施した。
- ③ 前年度に引き続き愛国中・高校の「なでしこ祭」への出展の一環として「進学相談会」を実施したほか、内部3校に対する「進学説明会」、「出前授業」、「進学相談会」、大学附属龍ヶ崎高等学校での行事の際のブース展示、大学見学会、大学附属四街道高等学校入学式後の大学概要説明等を実施して情報の発信を行った。また、本学の大学祭「撫子祭」においても、ブースを開設して「進学相談会」を行うとともに、内部校と連携した資料配付等を行った。このほかに日本学生支援機構主催の留学生対象の説明会や、外部の団体や日本語学校による、県内及び都内での「進学説明会」に参加し学生確保のための広報活動、相談活動を行った。
- ④ 大学独自の「愛国学園大学修学奨励会・奨学金」による奨学事業として、平成30年度入学者で成績優秀な23名に対し入学金の減免を行った。
- ⑤ 学生確保を推進するための広報活動として、ホームページの更新や、「オープンキャンパス」ポスターの学校配布、進学情報誌等への大学情報の掲載、地域内での広報活動、電車内広告の掲示などを行い、大学情報を多面的に発信して大学知名度アップに努めた。

また、昨年に引き続き、朝日新聞、読売新聞及び東京新聞への広告掲載を行って入試情報を発信した。

#### (2) 研究生の受入れ

研究生の受入れについては、昨年に引き続き受け入れて研究指導を行った。研究生制度については、指導体制の見直し等を行い、入学資格の見直し(成績基準)を行うとともに、授業料についても他大学の状況を調査し改定等を行い、次年度に向けて体制の整備を行った。

#### (3) 資格取得の報奨金

学生の学修成果として、各種資格等を取得した際は、愛国新聞や大学ホームページに掲載するとともに、表彰や報奨金の支給を行っている。本年度は、アロマセラピー1級の資格を取得した学生1名に対して報奨金(5千円)を支給した。

なお、学校訪問の際には、報奨金制度の実績等についても説明を行い学生確保の一助とした。

### 4. 施設設備の整備

平成30年度は、緊急に修繕が必要な個所等優先度を勘案しつつ、以下の施設設備について整備を行った。

- (1) 建築年度の古い1号館を重点的に、2号館を含め屋根防水工事等漏水対策工事を行った。
- (2) 経年劣化により故障した1号館1階学務課前給湯器及び食堂厨房給湯器各1基を更新した。

なお、この他、建築基準法に定める防火設備定期検査報告を、平成30年8月に行った。

### 5. その他

#### (1) 地域貢献活動

昨年度に引き続き、四街道市、四街道市教育委員会との共催で、「市民大学講座・専門課程」を開講しているが、本年度は36名の参加を得て、「国際理解のために—アジア地域を中心に—」とのテーマのもと、9月から翌年3月までの間に8回の講座を開講し、地域への貢献を進めるとともに、市民に対して大学の活動やキャンパスを公開周知する場として提供した。

また、本学に多数在籍する外国人留学生について、四街道市国際交流協会が毎年行っている「外国人に



よる日本語スピーチ発表会」への参加を奨励し、外国人留学生と四街道市民との交流に努めた。

## (2) 地域との連携

地域社会への広報活動の一環として、大学祭（撫子祭）の開催に当たって、同日開催の四街道市産業祭と連携し、学園各校の学校案内冊子及び大学祭（撫子祭）のチラシを同会場で配付するとともに、大学祭会場では昨年を引き続き四街道市国際交流協会による展示や、市内の商店が製造した菓子パン等の販売を行うなど地域との連携により、大学の活動を積極的に発信して知名度アップに努めた。

## 【愛国学園短期大学】

### 1. 基本方針

#### (1) 学生募集活動を充実させ、定員充足率を改善する。

今年度より、学生募集活動を一体的・総合的に推進する組織としてアドミッションセンターを設け、活動を開始した。今年度は前年度を上回る13回にわたるオープンキャンパスを開催したほか、前年同様高校訪問や進学情報誌、進学情報サイトへの本学情報の掲載などに鋭意取り組んだところである。

しかしその結果は、昨年度より若干上回ったものの、入学生が46名と、入学定員の46%に過ぎない結果となった。今年度の結果を踏まえ、来年度の学生募集活動に取り組んで行く必要がある。

#### (2) 将来を見据えた教育環境・内容について計画を立て、反省・改善を行いながら学生支援を強化する。

生活デザイン専攻、食物栄養専攻及び両専攻共通それぞれの、建学の精神及び校訓に沿った教育の目標と目的を設定して教育を進めているが、新たな学習指導要領による初等中等教育修了者の進学を踏まえた教育課程や高大接続といった新たな方向を視野に将来を見据えた教育環境や教育内容を考える時期に至っている。しかし、学生数が減少傾向にあつて定員の充足に向けた取り組みに主眼を置かざるを得ない現状があり、検討するに至っていない。

今年度は、高大接続の在り方などについて外部講師による研修会を開催し、教職員の理解の促進に資した。来年度は、具体的な検討に着手することとしたい。

#### (3) 将来を展望した中長期にわたる学校運営の方向として「地域に根差した短期大学作り」を積極的に進める。

本学は「地域に根差した短期大学」作りに向けて様々な活動に取り組んでおり、今年度も小岩警察署からの要請に基づく防犯活動や地元江戸川区と連携した行事等への参加に取り組んだほか、従来どおり、生涯学習の一環として地元の方々を対象とした公開講演会の開催、公開講座の開設を進め、多くの地域の方の参加して頂いた。これらの活動により、区及び地域における本学の認知度は徐々に向上してきていると感じている。

なお、後述するとおり地域の課題解決の一助として開設した履修証明プログラムについては、今年度、履修希望者がいなかった。

### 2. 教育・研究等における重点事

#### (1) 教育内容の改善及び学生対策

##### ① 建学の精神及び校訓の浸透

建学の精神や校訓の浸透については、従来から入学式や卒業式における理事長先生の御挨拶や学長の告辞、愛国新聞、新入生ガイダンス、授業その他機会あるごとに学生に伝達し、徹底させている。今年度も同様に浸透を図った。

##### ② 本学独自の授業・体制の企画・実施

昨年度より生活デザイン専攻、食物栄養専攻とともに、教育の目的、目標を本学独自のものとし、それ

に合わせてカリキュラムマップ及びビツリーなどの見直しを行ったが、特に生活デザイン専攻については、今年度より教育目的を「生活全般に関わる知識と技術を身につけ、生活を主体的にデザインすることのできる有能な社会人であり、かつ、健全な家庭人を育成する」ことに改めるとともに、その実現のために、専攻科目の科目群を「専攻必修科目」ほか2科目群に改めたうえで、必修科目を少なくして学生の興味や目的に応じて深く学べるよう改訂した。

### ③ 家政・食物栄養両専攻の教育内容の充実とカリキュラム改訂

短大は、近年特に重視されている学習成果の獲得に焦点を当ててアクティブラーニングを積極的に導入してきており、今年度も多くの授業でプレゼンテーションやディスカッション、ロールプレイングを取り入れた。

また、生活デザイン専攻については、(2)に記したように科目群構成を変更したうえで必修科目を少なくし、より学生の興味や目的に応じて深く学べるようにしたうえで、新たに、国家検定と位置付けられているレストランサービス技能検定の資格取得を支援する科目を導入するとともに、家庭料理技能検定の受験も視野にした科目を導入した。一方食物栄養専攻については、「栄養士の質の向上」を目的として、今年度より、栄養士を目指す学生全員に全国栄養士養成施設協会が開催する「栄養士実力認定試験」の受験を義務付けることとしたほか、専攻の目標である「美味しい献立を立案でき、調理技術に長けた栄養士」の養成に向けて、その下地となる「数学基礎演習」と「基礎調理学実習」を専攻科目に位置付けた。

### ④ 資格取得者増加のための教育内容の充実等の取り組み

今年度も栄養士課程や両専攻に置く教職課程により免許の取得に努めたほか、生活デザイン専攻では医療事務管理士、介護職員初任者研修、フードコーディネーター3級ほかの資格を、また、食物栄養専攻ではフードスペシャリストやアスリートフードマイスター3級ほかの資格をそれぞれ取得させるための授業科目を配置して資格取得の取り組みを進めた。

### ⑤ 学生生活の活性化に資する自主活動の支援

今年度も学生の自主組織である学友会を教員が支援する形で自主活動を支援した。4月6日(木)には新入生歓迎会が開催され賑やかな笑い声に包まれながら先輩・後輩の交流が行われ、9月8日(土)にはなでしこ祭が開催されて保護者や高校生など多くの来場者を得て盛況のうちに終了した。また、サークル活動は年々活発化しつつあり、今年度は6つのサークルが活動し、なでしこ祭において自らが製作した物品の販売を行うなど、その活性化にも貢献している。なお、今年度も前学期終了時に、学友会中心に学内の大掃除を行っている。

### ⑥ 学業等優秀者への三浦奨励賞の授与(授業料の減免)

今年度、前理事長先生の名を冠した本学独自の奨学金「三浦亮一奨学金」制度を設け、1年次の成績等を元に2年次学生より2名を選定し授業料の一部を減額する形で奨学金を授与した。また、後学期には、学園に新たに設けられた「三浦亮一奨学基金」からの奨学金制度により、1年次前学期の成績等を元に1年次学生1名を選出し、授業料の一部として奨学金を授与した。いずれの奨学金も学生の勉学の励みになるもので、大きな効果を得たと考えている。

### ⑦ 特待生制度導入に向けた検討

特待生制度については、学園に新たな奨学金制度が設けられたこともあり、今年度は検討しなかった。

### ⑧ 退学者減少のための対策、実施

従来から学生生活全般にわたる支援体制としてクラス担任制を導入し、加えて学生相談室を設け、さらには教職員全員が学生の相談に応じることができる体制を構築してきた。一昨年度からはオフィスア

ワーを設けて支援を強化したところであり、これらの体制が退学者の減少に寄与していると考えている。

#### ⑨ 地域に根差した大学作りに向けた取り組み

##### ア. 地方自治体など学外機関との連携に基づく取組

従来から取り組んでいる小岩警察署からの要請に基づく防犯ボランティア活動、江戸川区の教育施設におけるボランティア活動、江戸川区主催の「小松菜まつり」におけるボランティア活動及び参加のほか、今年度は一般社団法人ハギユット協会主催の「ハギユットフェス 2018SUMMER」にも新たに参加した。

##### イ. 地域貢献のための新たな公開講座・公開講演会の検討・実施

今年度も江戸川区との共催の下に地域住民の健康増進等を目的として公開講演会を2回開催したほか、前年度の開設結果などを踏まえて検討したうえで21の長期・短期に亘る公開講座を開設し、多くの来場者を得た。

##### ウ. 履修証明プログラムの実施（生涯学習）

今年度も昨年同様に「高齢者の健康と豊かな生活の支援」をテーマとした履修証明プログラムを開設したが、履修希望者がいなかった。来年度以降に向けてプログラムの内容を見直すとともに、募集に当たっては、江戸川区との連携も視野に検討したいと考えている。

##### エ. 地域貢献としてのボランティア活動

前記のとおり、小岩警察署からの要請に基づく防犯ボランティアのほか、江戸川区の教育施設におけるボランティア、区主催の小松菜祭りにおけるボランティアなどの活動に積極的に取り組んだ。

#### (2) 学生の教育指導・生活指導のための組織体制の明確化及び教職員の能力開発（Faculty Development (FD), Staff Development (SD)) 等

##### ① 学内組織体制の明確化

業務の効率化を図るために教授会の下に置く各課題検討委員会について、その在り方について検討進めたが、今年度は結論に至らなかった。来年度の課題である。

##### ② 教員の能力開発等を目的とした授業公開、IRに基づく教育効果の高い教育の企画（FD）

今年度は、8月に「発達障害者への対応」と題して専門家を講師とした研修会を開催するとともに、2月には非常勤教員との意見交換会を開催した。「IRに基づく教育効果の高い教育の企画」については、来年度以降の課題である。

##### ③ 職員の能力開発を目的とした研修（「企画・提案・情報発信する事務局」のために）（SD）

今年度も8月2日間にわたって「高等教育に係る近年の動向」と題した説明会と「事務局職員としての学生指導の在り方」「学生募集の在り方」と題した意見交換会を開催した。

#### (3) 科研費等の外部資金の獲得によるさらなる研究の活性化

今年度も2名の教員が科学技術研究費補助金を得て、研究活動資金として活用した。

### 3. 学生・生徒の募集活動に関する計画

#### (1) アドミッションセンターを中心とする総合的學生募集対策の実施

今年度、広報活動や直接の募集活動、入試対策などの学生募集活動を一体的総合的に推進するために、広報活動委員会、学生募集委員会、入試対策委員会などの組織を一体化した「アドミッションセンター」を設けて活動を開始した。

#### (2) オープンキャンパスの実施

今年度は、当初計画したとおり9回にわたってオープンキャンパスを開催したほか、今年度の入試の実施状況を踏まえて、10月以降4回にわたって追加のオープンキャンパスを開催した。

(3) ホームページの見直し

現在のホームページは、平成29年5月に全面改定したものを使用しており、今年度は、このホームページに掲載した情報を最新のものに変更するに留めた。

(4) 学校案内の改訂

学校案内は昨年度より全面改訂に向けて検討を進め、今年4月より新たな学校案内により募集活動を開始した。

(5) 進学情報誌、進学情報サイトへの掲載

今年度も、前年度の情報掲載効果を踏まえて取捨選択し、進学辞典、マイナビなどの進学情報誌並びにスタディサプリ進路、毎ナビ進学サイトなどの進学情報サイトに本学の様々な情報を掲載し、志願者の確保を期した。

(6) 高校訪問の充実

今年度も、前学期教職員14名により、訪問の効果などを検討しつつ選択した43の高等学校を訪問して志願者の確保を期した。後学期については、資料請求者やオープンキャンパス参加者の在籍校から随時選択して高校訪問を実施した。

4. 施設・設備の整備計画

(1) 校舎内装の改修

当初の計画どおり短期大学校舎の塗装をほぼ全面的に修繕するとともに、調理学実習室の調理台を更新するなどの全面改修工事を行った。学生にとってより良い環境で教育を進めることが出来るだけでなく、学生募集にも繋がるものと考えている。

(2) 教育内容を高めるための実験・実習用機器・用品の整備

今年度は故障した教職員用のパソコン6台を更新したが新たな実験・実習用機器等は整備しなかった。

(3) 専門図書等、蔵書の拡充整備

今年度も専門図書等の蔵書の拡充に努めた。多数の寄贈図書をいただいたこともあって蔵書数が年度末時点で21000冊余りとなり、前年度末に比べ概ね500冊充実した。

(4) 教員の研究活動を支援するための設備等の整備

本学の研究活動は徐々に活発化しつつあり、今年度も2名の教員が科学技術研究費補助金による助成をいただいて研究活動を進めた。しかし、例年どおり、教育活動をより充実させるための施設・設備の整備等を優先した結果、研究活動を支援するための設備等は整備するに至らなかった。来年度以降の課題である。

**【愛国学園保育専門学校】**

1. 教育・研究における重点事項

(1) 幼児教育科

① 29年度入学生57人のうち退学者等10名を除いた47人に、27年度入学生1人を加えた計48人が卒業した。

② 学生が主体的に問題を発見し、解決策を見出していく能動的学習への資質・能力を育むことができるような授業を展開した。

③ 学生毎の履修ファイルを作成した。

(2) 介護福祉士専攻科

募集停止中

### (3) 学会発表

第71回 保育学会発表「実習事前指導等が実習に及ぼす効果と実際」ほか3名

## 2. 学生の募集活動について

### (1) 幼児教育科

- ① オープンキャンパス等
- ② 首都圏保育専門学校フェア（本フェア1回、サブイベント3回）への参加などにより、学校の周知及び学生募集を図った。
- ③ 地域を対象とした子育て支援講座を実施した（3回）。

### (2) 介護福祉士専攻科

- ① 27年度から一時募集停止

## 3. その他

- (1) 山梨方面への研修旅行（幼児教育科）を5月に実施した。
- (2) 講師会議等をそれぞれ予定どおり実施した。

## 【愛国中学校・愛国高等学校】

### 1. 教育・研究における重点事項

女子教育に対する誇りと責任とを持ってきめ細やかな指導を心がけ、知育・徳育・体育の教育体制の充実に努め、習熟度別の授業やチームティーチング、4. その他に見られるようなアクティブラーニング、補習・講習を適宜行うなど、基礎学力の向上に努めるのはもとより、成績上位者の学力アップも図った。また、上級学校との連携等により、早くから進路指導に力を入れ、目標を定めた充実した学習・学校生活を行えるよう促した。さらに、校訓を実践する場として定期考査を「無監督試験」で行い、知育を支えるその根本には本校らしい徳育があることを生徒たちに認識させている。この制度は70年以上継続している。

専門学科における准看護師、調理師を始め、各種資格（英検、漢検、書道、簿記、情報処理等）取得を奨励した。愛国中学校においても、キャリア教育、及び中高一貫教育の充実の一つとして各種検定試験へのチャレンジを推奨、上記資格に加えビジネス能力検定に挑戦するなど、一定の成果を上げた。

### 2. 生徒募集活動

- (1) 学校説明会や学校訪問を複数回実施するほか、外部の説明会にも積極的に参加し愛国学園の建学精神を理解してもらうように努めている。
- (2) 学園の上級学校への進学をより充実・容易にするため、大学・短期大学・保育専門学校において模擬授業を実施するなどして、生徒が上級学校へ進学できる環境整備に努めている。
- (3) ホームページを充実させ、愛国学園に対する理解度を高めるよう努めている。

### 3. 施設設備の増改築等

- (1) 本部棟及び教室内のLED化工事を施工した。
- (2) 空調機器監視盤の整備を行った。

### 4. その他

- (1) 日本文化の源流を訪ねる関西・北陸旅行、奥の細道をたどる東北旅行や深川の散策の実施
- (2) 約3週間のホームステイを主としたアメリカ海外研修の実施
- (3) 軽井沢高原寮における高原生活及び一宮臨海寮における臨海生活による集団生活の体験学習
- (4) 衛生看護科の臨地実習、家政科の特別講習やかっぱ橋道具街見学の実施

- (5) 生徒銀行業務による商業科3年生の実践力向上と貯蓄教育の推進
- (6) 普通科3年生のフィールドワークとして芭蕉庵跡等を見学する文学散歩の実施

## 【愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校】

### 1. 基本方針

入学定員の確保及び女子教育の充実

### 2. 教育・研究等における重点事項

- 平成31年度からコース制（進学・一般コース，保育・福祉コース）の設置及びそれに伴うカリキュラムの変更
  - ① 時間割の編成や特別講座等の実施（授業時間の確保）
  - ② 国語・数学・英語の基礎基本の徹底
  - ③ 課外・補習授業や校外模擬試験等の実施
  - ④ 朝礼前・放課後の検定指導や2つ以上の検定試験受験の奨励
  - ⑤ 保護者と連携・協力した取り組みの実施（記念祭・なでしこ祭・清掃活動等）
  - ⑥ 「道しるべ」による道德教育や外部指導者による礼法指導の実施
  - ⑦ 上級学校による進学相談や出前授業・説明会を実施
  - ⑧ インターンシップや校外清掃・市主催のボランティア活動等に積極的に参加
  - ⑨ 毎学期の保護者面談やスクールカウンセラーによる全校生徒との面談を実施
  - ⑩ 家庭の事情等により皆無にならず
  - ⑪ メッセージボードによる試験や行事等の満足度アンケートを実施
  - ⑫ 活動部活動の設定と各部顧問の配置
  - ⑬ 龍ヶ崎市及び市商工会と連携して主催行事に積極的に参加
  - ⑭ 教職員の意識改善や校長による授業観察・教員面談の実施

### 3. 学生・生徒の募集活動に関する計画

- ① 受験方法（単願・併願）による受験科目の変更や面接試験の刷新
- ② 案内の仕方や説明内容を見直し，見学会・説明会を一新
- ③ 入試広報担当者を一新し，募集・宣伝活動を刷新
- ④ 訪問時期・回数を見直し，情報収集・信頼関係を強化
- ⑤ 活動内容の適正化を図り，強化部活動を指定
- ⑥ 龍ヶ崎市及び市商工会主催の催し物等に積極的に参加
- ⑦ リーフレットやHP・ダイレクトメール等の活用（学校行事等の連絡の徹底）
- ⑧ 新聞社等への働きかけ（メディアの活用：記事5回掲載）
- ⑨ 記念祭・なでしこ祭等に積極的に協力・参加
- ⑩ 随時受け入れ

### 4. 施設・設備の増改築計画

- ① 敷地内の樹木等の剪定や伐採・清掃や管理等の徹底
- ② 暖房機の順次修理・更新
- ③ ワックスがけ等清掃の徹底
- ④ エアコンの順次修理・更新
- ⑤ 清掃の徹底及び業者によるフロア洗浄・ワックスがけ等による維持・管理

⑥ 校舎屋上防水工事

5. その他

- ① 入試制度の一部改正・判定会議等を改善，コース制設置における各教科の授業内容の検討
- ② 学力養成特別講座・校外模擬試験の実施や各行事の内容検討
- ③ 総合学習における「食育」教育の実践（野菜作り・調理等）家庭科授業の一環としてスーパー「カスミ」による「食育教育（弁当の日）」（3年）を実施（9/11・1/29）
- ④ 4/1（日）「愛龍さくらまつり」を実施（一般公開）

**【愛国学園大学附属四街道高等学校】**

1. 教育・研究における重点事項

(1) 校内公開授業の充実

校内公開授業の充実（指導技術とよくわかる授業のための創意工夫）

(2) 教育課程の効果的運用

単位数増加科目の効果的運用（標準単位数に比較して）

- ① 国語（国語表現，国語総合）1単位増。1年次より「国語表現」を導入
- ② 現代社会1単位増
- ③ 数学Ⅰ（3単位増），数学A（1単位増）
- ④ 情報（社会と情報）2単位増

(3) 習熟度別授業の充実

習熟度別授業（数・英）によって学力差に対する授業効果の向上 ⇒ 各学期毎の入れ替え制

- ① 数学  
1・2学年 1クラスを2習熟度クラスに分割授業実施  
3年 3クラスを3習熟度クラスに分割授業実施
- ② 英語会話  
1・2学年 1クラスを2習熟度クラスに分割授業実施  
英語コミュニケーションⅠ・1学年 2クラスを3習熟度クラスに分割授業実施  
英語コミュニケーションⅡ・2学年 2クラスを3習熟度クラスに分割授業実施  
英語コミュニケーションⅢ・3学年 3クラスを3習熟度クラスに分割授業実施

(4) 個別学習指導の充実

- ① 個別学習指導の充実【偶数土曜日の有効活用（応用コース，基礎コース）】  
（国・数・英・情報の補習授業）
- ② 成績優良者への激励（各学期末実施）と個別指導の充実（平日放課後）⇒  
今年度の三学年は個別指導をするほどの優秀者いなかったが，優秀者の発掘をしていきたい。

(5) 芸術教科・少人数による授業展開

- ① 1・2年（音楽，書道）各クラス2分割授業  
3年（音楽，美術，書道）各クラス3分割同時展開授業
- ② 体育・情報において 部分的にTT授業を実施（生徒の意欲向上に効果）

(6) 進路指導の充実（学園内部進学者の進路啓発を図る）

- ① 公開授業（出前授業）の受講
  - ・愛国学園大学 2年生対象 11月8日（木）実施
  - ・愛国学園短期大学 2年生対象 5月31日（木）実施
  - ・愛国学園保育専門 2年生対象 5月31日（木）実施

② 進路説明会等の充実

- ・愛国学園大学 2年生対象 11月8日(木)実施
- ・愛国学園短期大学 2年生対象 5月31日(木)実施
- ・保育専門学校 2年生対象 5月31日(木)実施

③ オープンキャンパスへの参加

- ・愛国学園大学 愛国学園短期大学 保育専門 2学年生徒参加呼びかけ

(7) 情報教育の充実

- ① 検定試験の奨励(検定合格を希望し、資格取得の大切さに関心を持つ生徒が増えている)

2. 学生・生徒の募集状況

(1) 中学校及び塾訪問・・・訪問活動を通して学校の特色や出身生徒の状況と生徒募集のお願いなどの挨拶

- ① 校長・教頭による中学拠点校 80校  
② 地区担当者中学校 140校, 塾125校 合計 265校

(2) 各地区開催の説明会への参加

- ① 千葉地区, 船橋地区, 印旛地区, 山武地区, 四街道市内中学(4校)  
② 首都圏進学フェア千葉会場(相談28名)・成田会場(相談14名)  
③ 2018 高等学校一斉説明会(幕張メッセ)

(3) 学校説明会及び授業見学会の実施

- ① 学校説明会6回実施  
7/29(土)19組 8/19(土)42組 10/14(土)16組  
11/11(土)19組 11/25(土)40組 12/2(土)52組
- ② 授業見学会2回実施  
1/4(土)14組 11/18(土)14組
- ③ 市内中学校への進路説明会  
四街道北中6/1(水), 四街道西中6/28(火), 四街道旭中6/21(火), 四街道千代田中6/9(木)
- ④ 学習支援ボランティア(市内公民館にて小学生対象)

3. 施設・設備の整備計画

- ① 空調設備改修工事 完了 ② 屋上防水改修工事 完了

4. その他

(1) 1年次におけるクラスづくり(退学防止に配慮, 安心感をもてるクラス)

クラスづくり⇒入学後, 速やかに担任との個別面談を行い, 生徒理解の深化を図る。

- ① 入学オリエンテーション4/11(火)~4/12(水)でのコミュニケーションづくりゲームの実施  
② 全学年年度初めに早期面談の実施(行事予定表に位置づけ)4/19(水)~4/25(火)

(2) 小さな親切運動の充実(全学年)

- ① 小さな親切運動の充実  
全校生徒による清掃作業(クリーン作戦)  
⇒ 地域の奉仕活動として定着し, 行政や地域住民から感謝されてきた。  
7/10(火)・12/13(木)・3月に各学年ごとに実施

(3) 漢字検定, 英語検定, 情報処理検定等の資格検定試験への積極参加

(4) 地域への貢献活動



### Ⅲ. 財務の概要（平成 30 年度決算の状況）

#### （1）資金収支計算

「資金収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにするもので、平成 30 年度の資金収入合計は 88 億 9 千 5 百万円、資金支出合計は 83 億 5 千万円で収支差は 5 億 4 千 4 百万円となった。

#### （2）事業活動収支計算

「事業活動収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の活動を「教育活動」「教育活動以外の経常的な活動」「その他の活動」の三つの活動に区分し、それぞれの活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにして、収支の均衡状態等を把握するもので、企業会計における損益計算に相当するものである。平成 30 年度の教育活動収支差額は 3 億 5 千 6 百万円のマイナス、教育活動外収支差額は 4 億 9 千 3 百万円のプラス、特別収支差額は 1 百万円のマイナスで、これらを合わせた基本金組入前当年度収支差額は 1 億 3 千 5 百万円のプラスとなっている。

#### （3）貸借対照表

平成 31 年 3 月 31 日現在の資産の合計は 443 億 8 千 2 百万円、負債の合計は 6 億 2 千 2 百万円、基本金の合計は 170 億 9 千 3 百万円で、資産の合計から負債の合計を差し引いた額は 437 億 6 千万円となっている。

# 決 算 書

会計年度

平成 3 0 年度  
自 平成 3 0 年 4 月 1 日  
至 平成 3 1 年 3 月 3 1 日


学校法人 愛国学園


監 査 報 告 書

令和元年5月30日

学校法人 愛国学園  
理 事 会 御 中

学校法人 愛国学園

監事 菅野丈夫 

監事 帆川信一 

私ども監事は、私立学校法第37条第3項の規定に基づいて、学校法人愛国学園の平成30年度(平成30年4月1日より平成31年3月31日まで)の監査を行うため、理事会及び評議員会に出席するほか、随時に出校し、理事より学校法人の業務・財政状態及び財産の管理の状態を聴取し、監査を行った結果、次のとおり報告します。

- (1) 学校法人愛国学園の財産は適法、正確に管理されているものと認めます。
- (2) 学校法人の業務に関しては、法令及び寄付行為に違反した事実は認められません。


以 上


# 監 査 報 告 書

令和元年5月30日

学校法人 愛国学園  
評 議 員 会 御 中

学校法人 愛国学園

監事 菅野丈夫 

監事 帆刈信一 

私ども監事は、私立学校法第37条第3項の規定に基づいて、学校法人愛国学園の平成30年度(平成30年4月1日より平成31年3月31日まで)の監査を行うため、理事会及び評議員会に出席するほか、随時に出校し、理事より学校法人の業務・財政状態及び財産の管理の状態を聴取し、監査を行った結果、次のとおり報告します。

- (1) 学校法人愛国学園の財産は適法、正確に管理されているものと認めます。
- (2) 学校法人の業務に関しては、法令及び寄付行為に違反した事実は認められません。

以 上

## 資金収支計算書

平成30年 4月 1日から

平成31年 3月31日まで

&lt;総括表&gt;

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	981,832,950	981,832,950	0
手数料収入	18,888,200	18,889,900	▲ 1,700
寄付金収入	309,248,270	309,248,270	0
補助金収入	786,965,581	786,965,581	0
国庫補助金収入	32,075,000	32,075,000	0
東京都補助金収入	449,155,306	449,155,306	0
茨城県補助金収入	141,055,492	141,055,492	0
千葉県補助金収入	97,224,328	97,224,328	0
東京都私学財団補助金収入	67,455,455	67,455,455	0
資産売却収入	5,340,350,000	5,340,350,029	▲ 29
付随事業・収益事業収入	6,923,000	6,924,988	▲ 1,988
受取利息・配当金収入	473,654,734	473,657,350	▲ 2,616
雑収入	209,467,159	209,474,618	▲ 7,459
借入金等収入	1,500,000	1,500,000	0
前受金収入	231,324,350	231,324,350	0
その他の収入	143,427,988	143,427,988	0
資金収入調整勘定	▲ 471,628,855	▲ 471,628,855	0
前年度繰越支払資金	663,443,790	663,443,790	0
収入の部合計	8,695,397,167	8,695,410,959	▲ 13,792
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,727,343,000	1,727,310,802	32,198
教育研究経費支出	372,352,000	372,293,994	58,006
管理経費支出	175,104,000	175,037,761	66,239
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	2,600,000	2,600,000	0
施設関係支出	91,260,000	91,260,000	0
設備関係支出	28,761,000	28,752,350	8,650
資産運用支出	5,282,872,063	5,282,871,246	817
その他の支出	643,392,693	643,392,693	0
〔予備費〕	( )		0
	0		0
資金支出調整勘定	▲ 172,136,939	▲ 172,136,939	0
翌年度繰越支払資金	543,849,350	544,029,052	▲ 179,702
支出の部合計	8,695,397,167	8,695,410,959	▲ 13,792

法人名：愛国学園

活動区分資金収支計算書  
平成30年 4月 1日から  
平成31年 3月31日まで

<総括表>

(単位 円)

		科 目	金 額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	981,832,950	
		手数料収入	18,889,900	
		経常費等補助金収入	771,873,581	
		教育活動資金収入計	2,278,011,465	
	支出	人件費支出	1,727,310,802	
		教育研究経費支出	372,293,994	
調整勘定等		▲ 560,473,553		
		科 目	金 額	
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備補助金収入	15,092,000	
		施設整備等活動資金収入計	15,092,000	
	支出	施設関係支出	91,260,000	
		設備関係支出	28,752,350	
		施設整備等活動資金支出計	120,012,350	
			差引	▲ 104,920,350
			調整勘定等	▲ 5,994,000
		施設整備等活動資金収支差額	▲ 110,914,350	
		科 目	金 額	
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	1,500,000	
		小計	5,344,792,829	
		受取利息・配当金収入	473,657,350	
		その他の活動資金収入計	5,838,683,021	
	支出	借入金等返済支出	2,600,000	
		小計	5,290,078,764	
		借入金等利息支出	0	
		調整勘定等	0	
		支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	▲ 119,414,738	
		前年度繰越支払資金	663,443,790	
		翌年度繰越支払資金	544,029,052	

事業活動収支計算書

平成30年 4月 1日から  
平成31年 3月 31日まで

<総括表>

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異	
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	981,832,950	981,832,950	0	
		手数料	18,888,200	18,889,900	▲ 1,700	
		寄付金	309,248,270	309,248,270	0	
		経常費等補助金	771,873,581	771,873,581	0	
		国庫補助金	32,075,000	32,075,000	0	
		東京都補助金	449,155,306	449,155,306	0	
		茨城県補助金	141,055,492	141,055,492	0	
		千葉県補助金	97,224,328	97,224,328	0	
		東京都私学財団補助金	52,363,455	52,363,455	0	
		付随事業収入	5,126,000	5,128,892	▲ 2,892	
		雑収入	189,235,159	189,241,776	▲ 6,617	
		教育活動収入計	2,276,204,160	2,276,215,369	▲ 11,209	
		教育活動支出の部	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算
人件費	1,787,537,000			1,787,504,375	32,625	
教育研究経費	634,007,000			633,944,630	62,370	
管理経費	204,757,000			204,687,481	69,519	
徴収不能額等	3,142,000			3,142,000	0	
教育活動支出計	2,629,443,000			2,629,278,486	164,514	
教育活動収支差額			▲ 353,238,840	▲ 353,063,117	▲ 175,723	
教育活動外収入の部	事業活動外収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		受取利息・配当金	473,654,734	473,657,350	▲ 2,616	
		その他の教育活動外収入	20,232,000	20,232,842	▲ 842	
		教育活動外収入計	493,886,734	493,890,192	▲ 3,458	
		科 目	予 算	決 算	差 異	
		借入金利息	0	0	0	
教育活動外支出の部	事業活動外支出の部	その他の教育活動外支出	14,000	13,467	533	
		教育活動外支出計	14,000	13,467	533	
		教育活動外収支差額	493,872,734	493,876,725	▲ 3,991	
経常収支差額			140,633,894	140,813,608	▲ 179,714	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産売却差額	0	0	0	
		その他の特別収入	15,489,000	15,485,910	3,090	
	特別収入計	15,489,000	15,485,910	3,090		
	事業活動支出の部	事業活動外支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
			資産処分差額	16,180,000	16,179,861	139
その他の特別支出			570,000	570,000	0	
特別支出計	16,750,000	16,749,861	139			
特別収支差額			▲ 1,261,000	▲ 1,263,951	2,951	
〔予備費〕			( )	0	0	
基本金組入前当年度収支差額			139,372,894	139,549,657	▲ 176,763	
基本金組入額合計			▲ 408,342,379	▲ 408,342,379	0	
当年度収支差額			▲ 268,969,485	▲ 268,792,722	▲ 176,763	
前年度繰越収支差額			26,832,032,155	26,832,032,155	0	
基本金取崩額			2,855,143	2,855,143	0	
翌年度繰越収支差額			26,565,917,813	26,566,094,576	▲ 176,763	

(参考)

事業活動収入計	2,785,579,894	2,785,591,471	▲ 11,577
事業活動支出計	2,646,207,000	2,646,041,814	165,186

## 貸借対照表

平成31年 3月 31日

&lt;総括表&gt;

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	34,234,939,019	34,090,409,319	144,529,700
有形固定資産	7,969,422,961	8,140,900,524	▲ 171,477,563
特定資産	26,250,015,849	25,929,989,786	320,026,063
その他の固定資産	15,500,209	19,519,009	▲ 4,018,800
流動資産	10,151,770,890	10,613,896,843	▲ 462,125,953
資産の部合計	44,386,709,909	44,704,306,162	▲ 317,596,253
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	175,784,151	116,690,578	59,093,573
流動負債	446,340,417	962,579,900	▲ 516,239,483
負債の部合計	622,124,568	1,079,270,478	▲ 457,145,910
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	17,198,490,765	16,793,003,529	405,487,236
第1号基本金	16,238,490,765	16,133,003,529	105,487,236
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	800,000,000	500,000,000	300,000,000
第4号基本金	160,000,000	160,000,000	0
繰越収支差額	26,566,094,576	26,832,032,155	▲ 265,937,579
純資産の部合計	43,764,585,341	43,625,035,684	139,549,657
負債及び純資産の部合計	44,386,709,909	44,704,306,162	▲ 317,596,253



# 財 産 目 録

平成31年3月31日

(単位：円)

資 産 の 部					
科 目	適 要	金 額			
固定資産					34,234,939,019
有形固定資産					7,969,422,961
土 地	小岩校 他	15,755㎡	374,005,722		
	葛飾校地 他	1,184㎡	366,170,000		
	四街道校 他	30,786㎡	205,293,008		
	若松町校地 他	7,690㎡	230,070,000		
	龍ヶ崎校 他	41,140㎡	60,482,879		
	その他校地 他	18,834㎡	440,392,304	1,676,413,913	
建 物	小岩校舎		3,091,577,025		
	四街道校舎		1,407,811,448		
	龍ヶ崎校舎		146,279,201		
	学生寄宿舍		139,169,349		
	その他建物		293,980,109		
	建物附属設備		383,324,670	5,462,141,802	
その他の有形固定資産				830,867,246	
特定資産					26,250,015,849
その他の固定資産					15,500,209
流動資産					10,151,770,890
現金預金				544,029,052	
その他流動資産				9,607,741,838	
資 産 合 計					44,386,709,909
負 債 の 部					
固定負債					175,784,151
長期借入金	(財)東京都私学財団			4,750,000	
退職給与引当金				171,034,151	
流動負債					446,340,417
未払金	退職金等			169,845,242	
前受金	入学金・授業料等			231,324,350	
その他の流動負債				45,170,825	
負 債 合 計					622,124,568
	正 味 財 産				43,764,585,341